

平成 29 年 2 月 1 日

「高活ビズ・ナノコーポの起業」セミナー

一般社団法人

高齢者活躍支援協議会

〒103-0005

東京都中央区日本橋久松町 4-10

イマス日本橋福山ビル5階

TEL: 03-6661-0018

E-mail: mizuno@koureisha.co.jp

1. 高齢者活躍支援協議会の提案する「高活ビズ」とは

高活ビズとは

政府は2012年9月、11年ぶりの見直しとなる「高齢社会対策大綱」を閣議決定しました。その中で特に強調されているのは、「65歳は高齢者か」という問いかけであり、社会を支える高齢者パワーへの期待が盛り込まれています。

高齢社会対策大綱で期待しているのは、これまでのように現役を引退して余生や老後を生きる、或いは年金など社会保障によって支えられる高齢者像ではありません。むしろ、高齢者と呼ばれる65歳以後も何らかの形で仕事に従事し、社会参加し、積極的に支える側に立つ高齢者になることを期待しています。

高齢者が社会を支えるためには「活躍する場、あるいは活躍できる仕事」を考えることがたいへん重要になります。収入は多くなくてもよい。高齢者が働ける場とワークライフバランスを取りながら働ける環境が用意される事が必要です。

そして、若者など現役世代の雇用機会を奪わないような働き方、あるいは心身に無理な負担がかからないような働き方ができる仕事が望ましい訳です。

私達は、このような高齢者が「自分の身の丈にあった仕事を起業し活躍できる仕事」を「高活ビズ」と呼んでいます。

ナノコーポとは

2012/8/6 日本経済新聞の朝刊に次のような記事が掲載されました。

若年層の起業が減る反面シニアの起業が活発だ。2011年度は60代以上の起業が全体の6.6%となり、この比率は米リーマン・ショック前の1.5倍に増えた。

企業OBが経験や人脈を生かして起業する例が多く、年金の支給年齢引き上げを控えて雇用の受け皿としても期待が高まる。

一方で起業に占める若年層の比率は過去最低の水準で、イノベーション（技術革新）の停滞が懸念されている（高見浩輔）

ナノコーポは、微細を意味する「ナノ」、会社を意味する「コーポレーション」を合わせた合成語で、大きなリスクを伴わない「自分サイズ」にこだわるビジネスです。高齢者が過去の経験や知識を活かしながら、自分のできること、やりたいことを自分の身の丈に合わせて起業する「ミニ企業」を意味します。

2. 「ナノ・コーポ」セミナーについて

定年後の高齢者を対象に、「雇われない働き方」「小規模の事業を自ら起業する」働き方を提案するセミナーです。
今年の敬老の日には、65歳以上の高齢者人口が3千万人を突破して総人口の24.1%に達したことが報道されました。団塊の世代と云われる人達が高齢者の仲間入りをしたことで、これから毎年100万人以上のペースで高齢者が増加していくことになります。
このような社会的背景から、高齢者の就労、社会参加は今まで以上に重要な社会的課題になっていきます。現状でも、定年退職した高齢者が新たな仕事を見つけ就業するのはなかなか難しく限界があります。
このセミナーは、高齢者の就労拡大・推進の選択肢のひとつとして「雇われない働き方」「一人で起業する小規模ビジネス・ナノコーポ」をご提案するものです。

開催されたセミナー

●第1回高活Biz起業塾：平成24年11月6日（火） 生活支援・充実ビジネス

- ①愛犬のお散歩屋さん 株式会社JTL本部
代表取締役 古田 弘二氏
愛犬の散歩代行・躰・癖の矯正・ペットシッター
全国主要都市で犬の躰、ペットシッター業務等
- ②株式会社 「誠や」オーダー型ケアプラン
代表取締役 三原 由梨乃氏
在宅介護者・要介護者へのオーダー型ケアの実践

●第2回高活Biz起業塾：平成24年12月11日（火） 出張・出前サービスビジネス

- ①訪問美容「と和」
代表 小池 由貴子氏
病気や怪我などで美容院に行けない高齢者の方への出張美容サービス
- ②街のお助け隊コンシェルジェ
代表 青木 弘道氏
品川区中延商店街の活性化と連携した「有償ボランティア」
家事代行と水道、トイレの修理など便利屋さん機能

●**第3回高活Biz起業塾**：平成25年1月22日（火）
スキル・知識ビジネス

①ITサポート(有)ブリッジ

代表 古橋 俊夫氏
パソコンの訪問サポート・トラブルの出張解決・修理

②トータルプロジェクトオフィス

代表取締役 伊藤 康子氏
社会貢献活動支援ビジネス及びコンサルタント
いびき、若返り、声のサプリメントなどの情報と物販

③家事代行サービス「かじワン」

株式会社高齢社 代表取締役会長 上田 研二氏
シニア女性の働く場を創る。
介護保険対象外の生活支援サービスの提供

●**4回高活Biz起業塾**：平成25年4月6日（土）
シニア支援Biz・派遣Biz

①シニアの講師デビュー支援

NPO法人シニア大楽 副理事長 藤井 敬三氏
楽しく交流、学習、生きがいを見つけ活動が出来る場の提供として、登録シニア講師の派遣、講師の話し方講習会、ユーモアスピーチの会、素人芸人たちの演芸団「演多亭」の自主公演。

②キャリアカウンセラーと葬儀コンサルタント

(株)ピアネットワーク代表 柴田 徇也氏
「人生の過ごし方」～お葬式で「人生のしまい方」…人生に関わる仕事。
ローリスク～ローリターン～一人ビジネス、身の丈ビジネスを実践。

③人材紹介業で起業

(株)キャリア・ネットワーク会長 岡田 之俊氏
人材、組織、社会の活性化に貢献することを企業理念に“専門能力”の高い“ゴールドカラー人材”を中心に紹介活動。コンサルタントの平均年齢は63歳、最年長は75歳。起業型で3ヶ月の勤務経験後在宅独立も可能

●**第5回高活Biz起業塾**：平成25年7月13日（土）
地域貢献活動に参加する

①東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合

理事長 保坂 弘子氏
「やりがい・生きがい・働きがい」（出資・経営・労働）
私たちが作る「雇われない働き方」をテーマに一人ひとりが出資し、自己決

定して責任を持ち働く。

利益を上げることのみを目的とせず、利用者の信頼や地域 貢献を優先する事業体。

弁当・食事サービス、パン・クッキー、ジャム製造販売、体操指導、洋服採寸、リサイクルショップなど、具体的な働き方をご紹介。

②NPO法人東上まちづくりフォーラム

理事長 柴田 郁夫氏

「支え合う（お手伝い隊）・働く（ビジネス助っ人隊）・楽しむ（とくとく市民大学）」高齢者をサポートするお手伝い隊、シニア世代のノウハウ、ネットワークを活かした地元団体とのコラボを目指すビジネス助っ人隊、趣味や知識を活かして楽しむ市民大学など、シニアが地元で活動する場を提供し、東上線沿線の地域活性化に貢献することを目指す。

●第6回高活Biz起業塾：平成25年12月7日（土）

コンサルティング・FCビジネス

せっかく起業をしても、1年後には4割近くが廃業しているというのが現実です。理由は様々ですが、その多くは売上不足からの廃業です。逆に、起業をするなら事業計画をしっかりと作ったうえで、開業に踏み切ることが大切です。今回は、FC、代理店などの選び方の紹介のほか、シニア層を対象に起業した責任者や代理店ビジネスの担当者の方々に、具体的なビジネスモデルの紹介や起業する際の留意点など。

①FC、代理店などのフランチャイズビジネス

高活協理事 上田信一郎氏

FC、代理店などの選び方の紹介のほか、シニア層を対象に起業した責任者や代理店ビジネスの担当者の方々に、具体的なビジネスモデルの紹介や起業する際の留意点。

高齢者が起業できるフランチャイズビジネスの実例

②シニアの女性が働ける家事代行業

株式会社 かじワン 代表取締役 有我 昌時氏

60歳以上のシニアの女性の働く場と生きがいを提供する家事代行サービス、リーズナブルな価格で介護保険対象外の生活支援サービスを提供する。福祉・介護等のソーシャル事業への架け橋に、「家事代行サービス・かじワン」のビジネスモデル

③東海地区シニアキャリアサポートセンターを起業

◇株式会社 高年社 60 代表取締役 小松 剛之氏

静岡県で60歳以上のシニアに特化した人材派遣事業を起業

気力・体力・知力のある方に働く場と生きがいを提供。

高齢者専門のジョブカフェ「シニアキャリアサポートセンター」を開設して高齢社の雇用開発に貢献している。

●第7回高活Biz起業塾：平成26年7月12日

外出支援の福祉タクシーと農家のサポート活動

① タクシーを利用した高齢者向け外出支援・観光介助サービスを行う

講師：田中 創氏（東京お出かけ福祉タクシー）

身内の介護がきっかけで、自動車の2種免、ホームヘルパー2級などを取得し、高齢者向けの外出支援サポートで起業した田中さん。出身のIT業界とは異なる介護・福祉の仕事に不安はあったが、元気に仕事ができ、シニアに役立つ仕事に生きがいを感じていると言われます。今後は、できれば楽しみのための支援（旅行や美術館・買い物の付添いなど）に積極的に関わっていきたいと想いをふくらませています。

② 農産物の直売所への配送など農家のサポート活動に取り組む

講師：坂東 明彦氏（一般社団法人セカンドライフファクトリー理事）

東大が柏市で開催した「生きがい就労セミナー」の受講をきっかけに、農家のサポート活動を始めた坂東さん。野菜や生産物の出荷のため、4人がチームを組み「農産物の直売所への配送・陳列」業務を行っています。「農業経験がない者でも配送なら手伝える」と、農業のサポート事業の可能性を追求しています。

●第8回高活Biz起業塾：平成26年11月22日

テーマ：地域の問題解決・コミュニティビジネス

① 元気なシニアの居場所と出番をつくる

講師：久保 律子氏（NPO法人シニア SOHO 普及サロン・三鷹 代表理事）

設立15年の老舗NPO。コミュニティビジネスを掲げて、高齢者のマッチング事業、就労支援、児童の安全安心見守り事業、小中学校緑化事業、パソコン教室運営など各種事業を展開し、年間1億円以上の売上を達成している。地域の問題解決のため、シニアの豊富な経験・知恵を活かし日々奮闘中である。

② シニアによる地域の問題解決と活力あるまちづくり活動

講師：桑原 三郎氏（NPO法人よろずや余之助 会長）

高校時代の同級生ら団塊世代の仲間達が、リタイア後の生き甲斐活動の場を作ろうとの思いから、NPO法人よろずや余之助を立ち上げた。基本コンセプトは『おとなの溜り場』。誰でもが気楽に安心して過せ、気兼ねなく何でも相談できる場所を提供。喫茶事業・各種イベント・様々な相談事業等を展開中である

●第9回高活ビズ起業塾：平成27年4月11日

テーマ：「地域住民・企業・行政のパートナーシップ（協働）」

① 雇用対策と環境・地域再生を目指す

講師：斎藤 仁志氏（一般社団法人日本グランドワーク協会事務局長）

地域住民・企業・行政のパートナーシップ（協働）によるシニアの雇用や、身近な環境改善、地域再生の活動を展開するグランドワークは、英国で誕生、日本には1990年代前半に紹介・導入された。環境保全、共生社会を目指して、農地・水・自然環境保護、手作り公園の整備、冬季集住・二地域居住、古民家再生などの活動を推進している。

② シニアの自立、就労支援と地域の社会貢献活動

講師：埴 茂氏（NPO法人グランドワーク笠間理事長）

グランドワーク笠間は設立して3年。「地域の未来に笑顔の種をまこう」「シニアが元気に自立し輝くまちづくり」「笠間市の優れた自然環境を次世代に継承しよう」を合言葉に、(1)学童の通学安全サポート、シニアの雇用創出と就労支援、(2)耕作放棄地での栗・野菜の栽培から加工、店舗販売までの農業6次産業化の推進、(3)“地産地消”のカフェの開店などの事業を展開中。

●第10回高活ビズ起業塾：平成27年7月18日

テーマ：「インターネット・SNSの活用」

① 無料通話（スカイプ）を活用し、自宅で英語の手作りレッスン

講師：山中 昇氏（「英検一級道場」主宰）

「英語難民の駆け込み寺、寺子屋」——海外勤務時の英語力を活かし早朝・夜間・週末を利用して英語レッスンを実施。インターネットの環境がそろっていれば、全国各地、海外からでも授業が受けられ、個々人のレベルに応じた手作りの授業ができるのが強み。「スカイプが教育に革命をもたらした」という山中さんは、今も英検一級試験に通算25回の合格を続けている。

② iPadやFBを活用、生涯現役のスマートシニアを目指す

講師：牧 壮氏（牧アイティ研究所代表）

マレーシアで13年間、インターネットを活用したリゾートオフィスを実現。75歳で帰国、「シニアがシニアを指導する」iPadのインストラクターの育成活動を始める。今は、聖路加病院日野原先生の新老人の会（スマートシニア・アソシエーション）などでシニアのITサポート支援活動を展開中。このほど「iPadで65歳からの毎日を10倍愉しくする私の方法」を出版した。

●第 11 回高活Biz起業塾：平成 28 年 3 月 19 日

テーマ：「コミュニティビジネスと介護予防・日常生活支援総合事業」

① NPOや市民活動団体の相互の活動をサポート、支援する

講師：柳田 好史氏（としまNPO法人推進協議会代表理事）

豊島区で活動するNPOや社会貢献団体をサポートする民設民営の中間支援組織。柳田さんが最初に取り組んだのは駅前の放置自転車問題。その後、行政や地域を巻き込みながら、えんがわサロン、社会貢献活動見本市、若者・女性・シニア創業支援セミナーなどを開催。

今回は 31 加盟団体の子育て支援、高齢者の介護、福祉サービス、商店街活性化など様々な分野の課題解決の取り組みやコミュニティづくりの基本を、事例を交えながら紹介した。

② 地域での支え合い「総合事業」（介護予防）に積極的に取り組む

講師：梶野 光路氏（NPO法人コミュニティランドスケープ理事長）

「社会をよくしよう」と思える子どもたちを育てたくて始めた活動は「共生」というテーマのまちづくり。

豊島区とは、福祉共生事業として、地域のあらゆる人・組織・施設を共有するシニアシェアタウン構想のもと、高齢者居住支援事業を行っています。高齢者介護予防事業としても「行く場所・居る場所・生きる場所」と銘打ち「おとこのサロン」「女性中心のランチサロン」を運営。地域で介護予防事業をけん引する高齢者リーダーの人材育成も行っている。

●第 12 回高活Biz起業塾：平成 28 年 7 月 16 日

テーマ：「100 歳まで働ける環境づくり・コミュニティづくり」（体験型講座）

■おばあちゃんの職場と孫育てグッズ工房を運営するシゴトラボ合同会社

講師：桑原 静さん（BABAラボ代表）

元気なおばあちゃんたちが、自分らしい働き方や生き方ができる社会を目指し、お年寄りのための孫育てグッズを次々と開発しているBABAラボ。子連れのママから 80 代のおばあちゃんまで、多世代の人が働いています。

BABAラボが製作販売する商品は、“孫守”グッズが中心。買い物手提げ袋に子供が握れるひもを付けた「しっぽトート」や、祖父母と孫がお揃いで着れる「おそろいTシャツ」、高齢者でも安心して孫が抱ける「抱っこふとん」などがヒット商品。製作者はもちろん近隣に住むおばあちゃんたちです。

今年の夏からは「メモリの読みやすい哺乳瓶」も売り出す予定です。

同ラボ代表の桑原さんは、Web 業界やNPO法人コミュニティビジネスサポートセンターで企画業務や事業相談等を経験。2011 年に「お年寄りがいくつになっても楽しく働ける場を提供したい」との想いで、シゴトラボ合同会社を設立。高齢者が働くモノづくりの職場「BABAラボ」を運営しています。

● **第13回高活ビズ起業塾**：平成29年1月28日

テーマ：「市民力を活かした次世代郊外まちづくり」（体験型講座）

■ やりたいこと、得意なことを地域のために！

人と人、人と地域とをつなぐプラットフォーム（新しい地域共助サービス）

講師：合同会社たまプラ・コネクト 藤本 孝 さん

「たまコネ」は、スキルを持った人を発掘し、それを求めている人とマッチングすることで、「できること・やりたいことが地域の人に役立つ」街となることを目指しています。今回は、月に1度のペースで開催されている「シェアカル」に合わせて講座を開催します。

これまでの「シェアカル」（旧名サイレントオークション）では、30~40種類のスキルを提供。提供者によるサンプル展示だけでなく、ワンポイントレッスンなどを実施し、参加者は提供を受ける前に確認し、試すこともできます。大人のための体操教室、3人揃ってメンズアロマレッスン、学生さんとキャンパスツアー、作りながら食べるアジアクッキングパーティ、お弁当のおすそ分け、子育てサポート、英会話レッスンなどが提供されています。

藤本さんには、横浜市、東急電鉄との住民創発プロジェクトとして発足した経緯や、シャープとの協業、今後の展開などについて紹介してもらう予定です。